包括的な学校改善の視点：教育課程・学習指導

小中連携のもと、ＩＣＴの効果的な活用を目指したステップ３の授業づくりを組織的に推進する学校モデル

中核校	鶴居村立鶴居中学校	指定校	鶴居村立鶴居小学校、鶴居村立幌呂小学校 鶴居村立下幌呂小学校、鶴居村立幌呂中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　ＩＣＴ活用技能研修の実施

・転入者を対象に校務及び授業での円滑なＩＣＴ活用の支援を目的とした基本的な学習支援ソフト等を扱った技能研修を年度当初に実施する。

・児童生徒に委ねる授業について村内全教員で共通理解を図るため、研修資料「ステップ３への道」を配付する。

・村内全教員のＩＣＴ活用力及び授業力の向上を個別最適、協働的に図るため、受講者選択によるＩＣＴ活用技能研修を「ステップ２の着実な実施を目指すコース」と「ステップ３の実現を目指すコース」で実施する。

【研修資料「ステップ３への道」】

【「ステップ２」コースの研修の様子】

○　クラウドを活用した「ＩＣＴ活用推進よろず相談」チームの運用

・ＩＣＴ活用に係る困り感の解消に向け、村内全教職員を対象とした「ＩＣＴ活用推進よろず相談」チームを開設し、活用方法について Microsoft Teams で相談に応じる。

・授業の好事例等を村内全教員で共有するため、同チームに「実践事例紹介チャネル」を開設し、授業動画や関係資料を公開している。

【「実践事例紹介チャネル」（Teams）】

○　児童生徒の自己評価に基づく検証改善サイクルの確立

・各教科で育成を目指す資質・能力の確実な育成に向け、児童生徒を対象に「毎日の授業についてのアンケート」を年２回（７月、12 月）実施する。

・ＩＣＴ活用推進小委員会で自己評価の結果を分析し、会報「つるスタ通信」をとおして改善の方策を村内全校に周知、徹底している。

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・ＩＣＴの効果的な活用について、鶴居村立学校５校が「そろえる・可視化」をキーワードとし、村研５月集会で説明し、村内の教職員全体で共有を図った。また、ＩＣＴ活用推進小委員会を設置し、専科教員や各校のＩＣＴ推進委員が中心となって研修会、調査活動等を行い、授業改善やＩＣＴ活用指導能力の向上を図るなど、教職員の主体的な取組を促進した。

【鶴居村教育研究所５月集会資料】

〔専科教員の取組〕

・巡回先小学校において、ＩＣＴに係る校内研修の講師や相談など、ＩＣＴを効果的に活用した校務及び授業について共通理解を図った。

・村内の３つの小学校を結んだ遠隔合同授業の実施等を通じて、授業におけるＩＣＴの効果的な活用について村内教職員に情報提供した。

■　各指定校への学校モデルの普及方策

・地域協議会において、各校の効果的な取組事例を共有した。

・Microsoft Teams を活用し、各校の実践紹介、本事業の取組に関する資料等の掲載や村内学校間でのビデオ会議等を実施した。